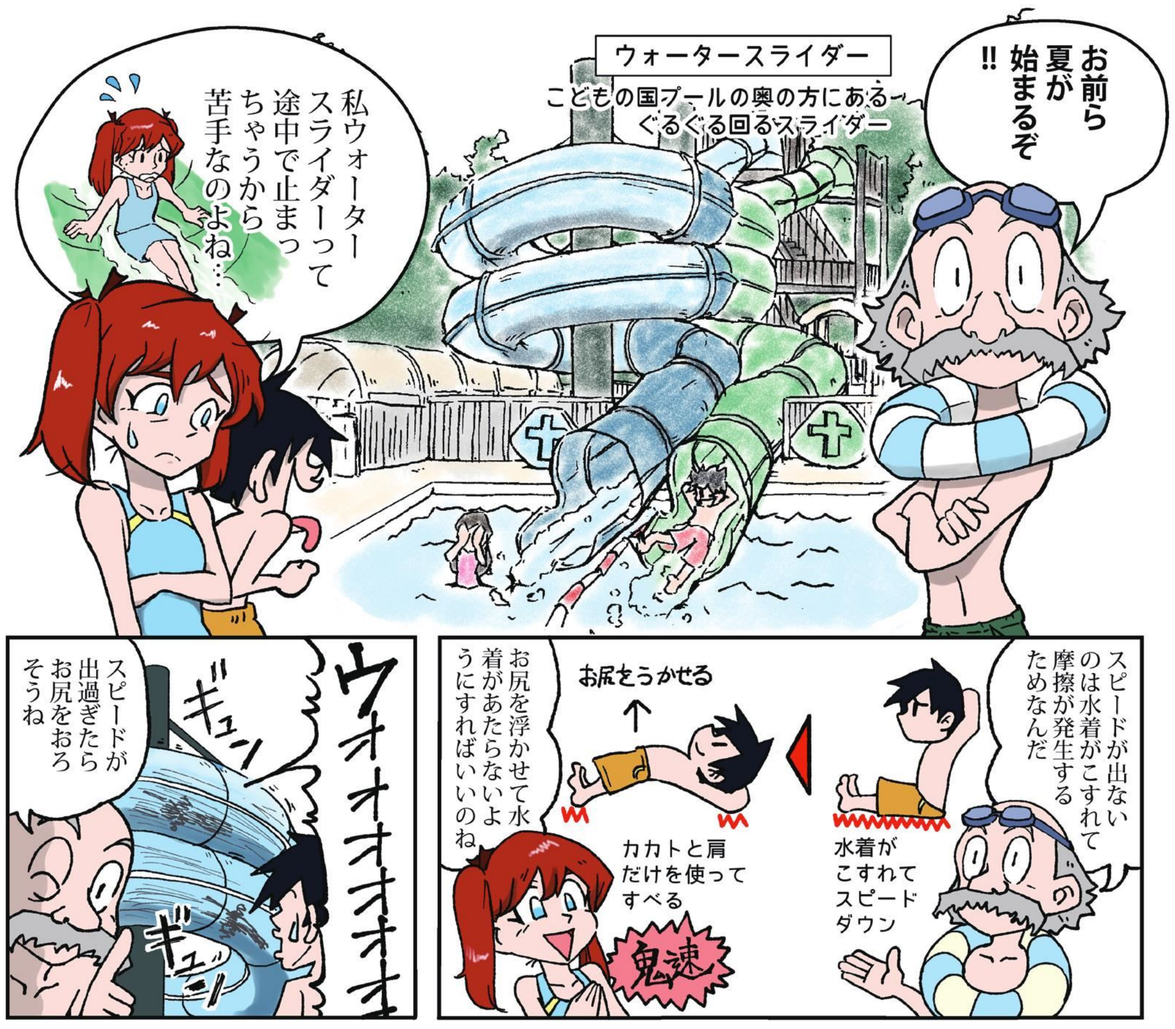
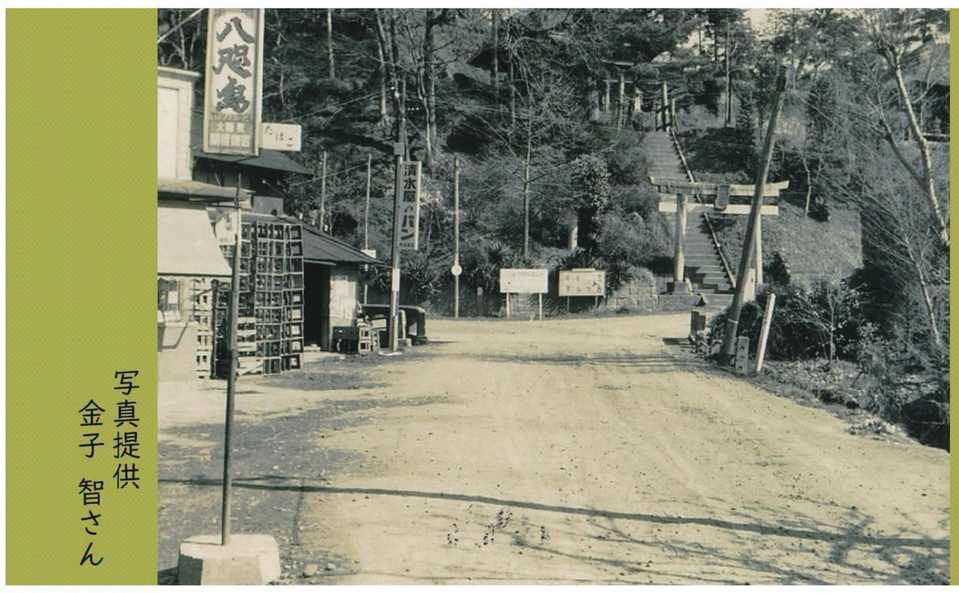
TAKE FREE　こどもの国駅周辺エンタメマガジン　国マガホームページ https://kunimaga.jimdo.com

国マガ 55

KUNIMAGA



いくつになっても夏は短い



昭和三十八年
住吉神社前

写真提供
金子 智さん

町の守り神

前号に引き続き、昭和38年（1963年）のこの町の風景を写した写真をご紹介。こちらは住吉神社の前の通りの風景です。現在の写真と比べても道の作り自体は大きくは変わっていないのがわかります。当時も人通りの多い場所だったのか、左側には商店があります。神社境内へ上る時にちょっとヒヤヒヤするあの急な階段に手すりがないのが少し怖いですね。

住吉神社の歴史を紐解いてみると、安永元年（1772年）9月に地頭石丸藤蔵の寄進を得て、村内の欅材を持ち寄って社殿を建立、後神楽殿、鳥居、石段等を建造寄進したもので、当時の奈良村の鎮守としたそうです。こどもの国住民には初詣などで馴染みのある住吉神社ですが、250年近く前からあると思うと感慨があります。大正12年（1923年）、関東大震災の際には鳥居が倒壊し、翌々年に再建されたのが現在の鳥居のようです。調べると神社を囲む森は「住吉神社の社叢林（しゃそうりん）」という名称で横浜市の天然記念物に指定されています。

毎年9月23日には例祭もありますし、初詣だけでなく、ふと散歩の時になど足を運んでみると季節折々の風情を感じられるのではないでしょうか。

オオキ　長男

防水・透湿など機能性の高い服や靴を買ったので、梅雨も台風もドンと来いという気持ちです。

国民の悩み（クニミン）

相談員 サリー志村

悩

妻が怒り出すと、止まりません。夜、家に入れてもらえないこともありました…結婚したばかり（子なし）なのに…（楠木、32歳、営業職）

このコーナー開始以来、ヘビーなお悩みをいただきました。いただいたお悩みだけだと情報が不足していて、なんとも言えませんが、なかなかたいへんですね。わたしは結婚したことがないのでわからないのですが、そういうのって婚前に分からないものなんでしょうか。でも分かんないかあ、交際の場合でも付き合った後に驚くことってありますもんね。さて、どうしましょう。とにかく、相談者さんは夜、家に入れないのは楽しくなさそうですよね。イヤなことって人生で長続きしないので、戻れなくなる前に引き返した方がいいんじゃないですか？

お悩み相談募集!!　宛先：kunimaga920@gmail.com

こどもの国周辺

イベントカレンダー

2019 JUL

7/13（土）	プールオープン
7/20（土）	すみよし台第1公園納涼祭
7/20（土）	折り染めうちわ
7/21（日）	折り染めうちわ
7/27（土）	奈良の丘小学校納涼祭
7/28（日）	セミの羽化と花観察
7/28（日）	夏休み昆虫教室
7/28（日）	折り染めうちわ
7/31（水）	美術やろうZ

…こどもの国　…青葉区役所・公会堂　…奈良地区センター　…フィリアホール　…その他

2019 AUG

8/1（木）	美術やろうZ
8/2（金）	フィリアホールオープンデー
8/4（日）	セミの羽化と花観察
8/4（日）	夏休み昆虫教室
8/4（日）	わんぱくホリデー
8/7（水）	奈良でちゃちゃ
8/23（金）	奈良山映画前夜祭
8/24（土）	奈良山納涼祭
9/1（日）	プール最終日

町の情報提供：ナカタク

毎日の最高気温がどんどん上がり、いよいよ夏本番ですね。7月13日にはプールもオープン、こどもの国が夏休みの子供たちで毎日にぎわう季節です。子供たちに思いきりフラストレーションを発散させて、家に帰ったらぐっすりパターンに持ち込むことができます。他にも折り染めうちわを作れたり、セミの羽化と夜にしか咲かないカラスウリの花を観察する会、生態の話を聞きながら園内の昆虫を観察する昆虫教室など、自由研究の結果にコミットするイベントも目白押し。

夏といえばあちこちの公園で夏祭りが開催されます。新興住宅地であるがゆえに、歴史ある街のような伝統的なお祭りではないですが、20年もたてばそれなりの歴史になってたくさんの思い出が生まれているはず。8月の最後の週末をしめくくるのは奈良山公園のお祭りですが、前日には野外映画祭が開催されるようです。上映プログラムがどこを探しても見つからなかったのですが、教養あるこの町の住人たちに合わせて、奈良山だけに今村昌平監督『楢山節考』を上映してはいかがでしょうか？

7月31日と8月1日には横浜美術大学で中学生のための美術教室「美術やろうZ」が開催され、美術部員が美術大学で切磋琢磨しながら制作に取り組むそうです。夏の挑戦は運動部だけのものじゃないということですね。

ところで、よく考えれば、この夏は10年代最後の夏なんですね。十年ひと昔、30歳を超えて夏がすごく楽しみということはさすがにないですが、夏という言葉が引き連れてくる何かが始まるような期待感だけは、未だにちょっとあったりします。二度とない2019年の夏を、みなさん素敵にお過ごしください！（安原）

加藤シュンスケ（表紙を描いた人）　イラストレーター

こどもの国のプールでバイトをしていたことがあるんですが、溺れているのを助けたのは子供よりお爺さんの方が多かったです

国外ART information（くにがい）

町田芹ヶ谷えごのき縁起

■町田市立国際版画美術館
■会期　7月6日～9月23日
■開館時間　10時～17時（土日祝は17時30分まで）
■休館日　月曜日（詳細はHP参照）
■鑑賞料　円

版画に見る「まちだ」

こどもの国住民にも馴染み深い（？）、お隣・町田の国際版画美術館。現在、若手作家が町田に取材し作品を発表する企画展を開催中です。第三弾の今回は、作家・田中彰が町田の「木と人が築いてきた関係」に着目しました。美術館の位置する芹ヶ谷公園の「エゴノキ」から版木を切り出し、新作を制作したとのこと。こうして場や記憶が強く意識された本展では、一人の作家の目を通じ、「町田」という場を改めて掘り起こすものになるかもしれません。

ムラウチミレイ　美術館スタッフ

時々、仲良くなったおばちゃんが野菜をくれます。さやえんどう、ズッキーニ、紫玉ねぎ、等々。季節の変遷がぐっと身近になりました。夏ですね。

4コマ

こどもの国 今昔物語

ソフトな宣伝

ミルクプラントソフト売店
9:30〜16:30

移動販売車（正面入口広場）
11:00〜16:30

こどもの国園内にて販売中。

2010年6月こどもの国探訪

やきそば　会社員

ぜひ、ご賞味あれ。

コラム 引込み線育ち　サリー志村

京浜工業地帯のにおい

5月、京浜工業地帯の夜景をみるクルーズにいってきた。クルーズなんてかっこよくいったけど、船は古式ゆかしい屋形船である。船は宴会気分でどっこいよっこい沖にでるが、だんだんと工場群がみえてくると気分は変わってくる。こうこうと照らされる鉄骨むき出しの高い塔、そのてっぺんから吹く炎。それらが暗い水面に反射すると光の量は倍になる。ふだんオフィス街を見ているわたしからすると、丸、三角、四角で幾何学的に構成された巨大な工場群は、まさに SF 的な未来都市にみえた。

このクルーズの船着き場は、いま住む川崎の家から歩いて 20 分程度のところにあった。自宅が海に近いことは地図上では理解していたのだが、どうも感覚と一致していなかった。この家はもともと祖父祖母が住んでいたところで、幼いころこの家に来たときになにかぷんとすると思っていたが、それは潮のかおりだった。祖父は生前、川崎の工場のひとつで働いていた。だからここに家があるのだ。いまわたしは、それとは逆に、都内へ内陸へと仕事に向かう。三代で仕事が製造業からサービス業に変わった。それはうちだけの話じゃなく、大きな産業構造の変化の話でもあるだろう。クルーズでは、その巨大な変化も実感させられ、なんかくらくらした。いま湾岸の工場では、多くの外国人が働いている。

6月、梅雨に入った。会社帰り、最寄りの駅に降り立ち、湿っぽい風が吹いたりすると、潮のかおりがする。クルーズのガイドは、湾岸の工場では潮のかおりのなかにたまに甘いものが混じるときがある、といっていた。それは、ジュースなどのドールの工場に大量の果物が運び込まれるときなのだという。いまのわたしは、たまに風のなかに甘いにおいするような気がしている。

サリー志村　編集者

京浜工業地帯の夜景クルーズは年間とおしてやっているみたいです。川崎駅に集合して、クルーズは2時間ぐらい。値段は 4000 円ぐらいでした。おすすめです。

この町の記憶

安原まひろ

平原

公園の裏山の見晴台から半年ぶりに見下ろした町は、随分と広く感じられた。幼い頃、ここに登ると、遠く多摩丘陵に向かってどこまでも連なっていきそうな送電線が、世界の広さを私に印象づけ、「私はなんと小さい町に住んでいるのだろう」と、広い世界への野望を心に灯したものなのだけど。テレビの旅ものバラエティだったら、アジアを巡る半年のバックパッカー旅行を終えた私は、ユーラシアの広さを肌で感じたあとに戻ってきた故郷の町を見下ろして、その小ささを愛おしく感じなければならないだろう。正直なところ、そういった物語を期待してここに登ってみたわけだけど、とてもそんな感情は湧いてこなかった。

茫漠と続いていくカザフスタンの平原をバスで横断した。空と地平を分かつ線が、窓の向こうでいつまでも引かれ続ける。ヨーロッパとアジアの間で、何千年もの間多くの人が行き交い続けた道なき道。大きな動きの中の一部に自分がいることへの感傷が、ふつふつと湧き上がり続けた。

そんな体験をしたあとでこんなことを人に言ったら笑い話だろうけれども、眼下で子供たちがボールを追いかけている一〇〇平方メートル程度の芝生の広場も、広大なカザフステップと相違ないように感じられる。

バスの車窓から平原を眺めていると、無数の石や木立や家や家畜が後方へと流れていった。私はそれら一つ一つを捉えきれないし、捉えたとしてもすぐに意識からこぼれ落ちて忘れていってしまう。

本当は広大な平原なんて存在しない。そういった無数の数えきれないものが集まっているにすぎないと、理解できた。それから、私は旅の最中ずっと、広大なことよりも、極小について思いをはせ続けた。大学の大教室の机の落書きとか、顔を近づけたときに見える彼氏の毛穴とか、部屋の網戸の網目の不均等さとか、そういったものがすべてあの平原につながっている気がした。

多分私は、今回の旅のことを人に問われれば、感動的で大きな物語を話すことになるだろう。それが半年も大学を休学してバックパッカーをして帰ってきた私が、社会に対して納得できる説明を用意するということだ。でも、私が持ち帰ったのはそんなわかりやすい物語ではない。山を切り開き、適宜に緑を再生産しながら作られた新興住宅地にある、小さな公園で駆け回る、どこにでもいる小学生たちの足もと。それは西へ、日本海の飛沫をくぐり抜け、中国大陸の膨大な道路を編み、タクラマカンの砂塵を抜け、天山の雪解け水をくぐり抜けて、広大なユーラシアの平原へとつながっている。

見晴台から公園の平原に降りた私は、裸足になって地面を踏みしめてみた。こんな考え方は誰にも理解されないし、私だってこの感じが一時の気の迷いかもしれないと思っている。

ふと、あの真っ青なガリガリくんが食べたくなった。私はコンビニに向かって、夏の平原を歩き出した。

安原マヒロ　美術系出版社

中学時代の同級生たちと久しぶりにおそば「なごみ」で飲み食いしたのですが、あそこ本当に良い店ですよね。というかあの通りで飲みたいとなると、もうあの店しかない…。

国マガ配布店

【こどもの国地区】●GRIVE(コーヒー) ●こどもの国歯科(歯科) ●こどもの国のくすり屋さん（薬屋） ●シュタットシンケンかくれが工房(ハム / ソーセージ) ●炭火焼肉はち(焼肉) ●スリーエフ・こどもの国駅前店（コンビニ） ●なごみ（そば） ●奈良地区センター ●Bacchus(イタリアン＆バー) ●パドル＆ブリュー（コーヒー） ●MONT（パン）

【奈良北地区】●かつ元（とんかつ） ●Coonie（パン） ●コンレマーニ（クラフト＆カフェ） ●昭和書房（本／文具） ●街の家族（コミュニティハウス） ●felicea（美容室）

【長津田地区】

●鈴幸ハウス 横浜長津田支店

【青葉台地区】●KOGA（美容室） ●COPPET（パン） ●鈴幸ハウス 青葉台支店 ●SoulCocktail's AOBADAI（バー） ●246亭（ラーメン）

国マガからのお知らせ

55 号はいかがでしたでしょうか？　最近、国マガメンバーで読書会をやっています。読書会というのは、参加者全員で同じ本を読んで、おのおの感想を語るというものです。われわれはお酒を飲みながらゆるっとやっています。本を通じて、その人なりの考え方がわかってきて面白いんですよ。 1回目は『ニック・ランドと新反動主義 現代世界を覆う〈ダーク〉な思想』（星海社新書）、 2回目は『なぜ人は騙されるのか：詭弁から詐欺までの心理学 』（中公新書）でした。今後も続けていきたいと思います。参加者を国マガ読者にもひろげていければいいな、と思っていろいろ考えています。またここで告知させてください！　というわけで、また来号！

おしらせ

- ホームページ！　すべての情報はここで！
  URL：https://kunimaga.jimdo.com
- 次号の国マガの配布日はだいたい 9 月 15 日です。

こどもの国系情報誌「国マガ」国マガ Vol.55
発行日　2019 年 7 月 15 日
発行人　サリー志村
デザイン　ヨシミユキ
DTP　安原まひろ
顔イラスト　柏木翔子　ムラウチミレイ
連絡先　kunimaga920@gmail.com
Facebook　https://www.facebook.com/kunimaga/